

大津企業景況調査報告書

(第55回)

平成23年10月～12月期 実績

平成24年 1月～ 3月期 見通し

大津商工会議所

大津企業景況調査について

(平成23年10月～12月期)

1. 調査方法

大津商工会議所会員企業 100 社に F A X 方式による調査

2. 調査企業

産 業 別	調査対象企業数	有効回答企業数	回 収 率
建 設 業	20社	20社	100.0%
製 造 業	10社	10社	100.0%
卸 売 業	10社	9社	90.0%
小 売 業	30社	21社	70.0%
サービス業	30社	27社	90.0%
合 計	100社	87社	87.0%

3. 調査期間

調査対象期間は平成23年10月～12月とし、調査時点は平成23年11月15日とした。

4. 調査データについて

調査の結果を示す指数として DI 指数を採用した。DI 指数とは Diffusion Index (景気動向指数)の略で、各調査項目について、「増加」・「好転」したなどとする企業割合から「減少」・「悪化」したなどとする企業割合を差し引いた数値である。

「業況」、「売上高」、「採算(経常利益)」、「従業員」の DI 指数は、前年同期との比較である。

「資金繰り」、「資金借り入れの難易度」の DI 指数は、3 ヶ月前との比較である。

「取引の問合せ」、「採算(経常利益)の水準」の DI 指数は、過去比較でなく水準を聞いたものである。

景況感は足踏み状態

平成 23 年 10 月～12 月期の大津企業景況調査の結果がまとまった。調査結果を示す指数として DI 指数（景気動向指数）を採用している。DI 指数は実数値などの上昇率を示すものでなく、強気、弱気などの経営者マインドの相対的な広がりの意味する。

全体

景況感は、23 年春から秋にかけて低迷していた建設業で受注・採算が改善し持ち直し、小売業でもやや改善した一方、円高の長期化、タイの洪水等の影響で製造業が悪化し、その他の業種も悪化しており、全体では足踏み状態が続いている。

先行き見通しは、円高長期化が予想される中、製造業はやや悪化すると見込んでいるが、卸売業、サービス業は改善すると見込んでおり、全体では業況はやや改善すると見込んでいる。ただし世界景気減速懸念等の不安材料があり、先行き不透明感がなお強い。

□ 業況判断 DI（前年同期比）は建設業が改善、製造業中心に悪化

「前年同期比でみた業況判断 DI(全体)」(「好転」－「悪化」)は、3 四半期連続▲35 と悪化が続いている。建設業は 3 期連続低迷していたが今四半期は改善した。他方、製造業をはじめ卸売業、サービス業では悪化し、全体では足踏み状態となった。

□ 売上 DI（前年同期比）は製造業を除き減少

「前年同期比でみた売上 DI(全体)」(「増加」－「減少」)は、前四半期の▲22 から今四半期▲32 と悪化した。業種別にみると、ほとんどの業種で減少が続いているが、製造業で増加に転じた。

□ 採算 DI（前年同期比）はやや悪化

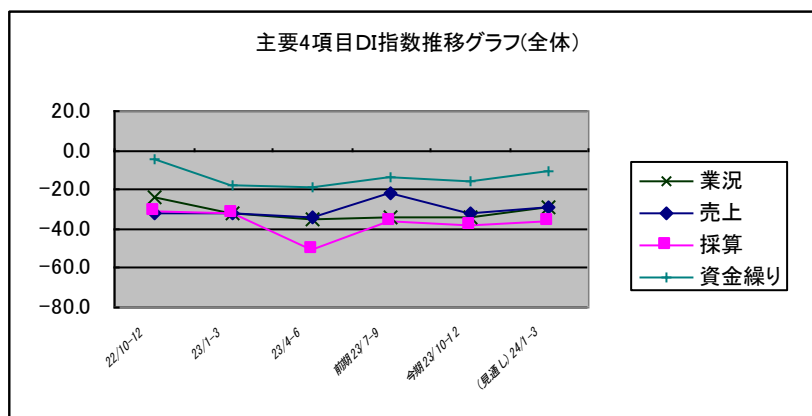
「前年同期比でみた採算(経常利益) DI(全体)」(「好転」－「悪化」)は、前四半期の▲36 から今期▲38 とやや悪化した。業種別にみると、ほとんどの業種で悪化が続いているが、建設業で改善した。

□ 資金繰り DI（3 ヶ月前比）はやや悪化

「3 ヶ月前比でみた資金繰り DI(全体)」(「好転」－「悪化」)は、前四半期の▲14 から今四半期▲16 とやや悪化した。業種別にみると、ほとんどの業種で悪化しているが、製造業だけが±0 で不変である。

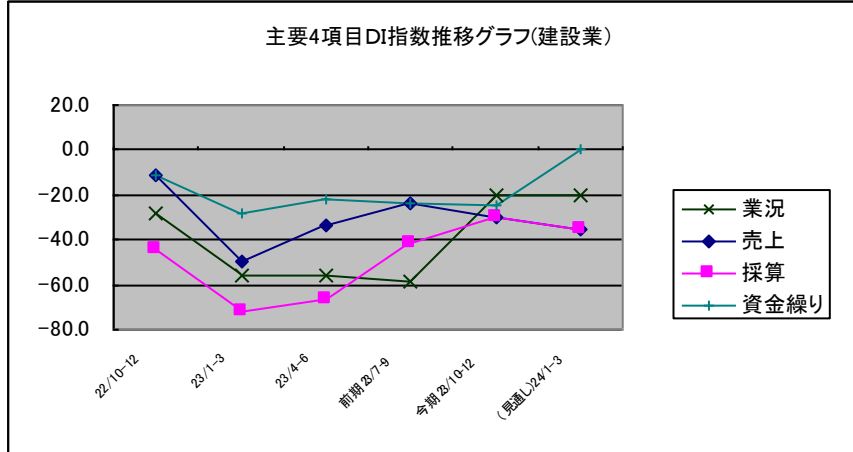
□ 従業員 DI（前年同期比）は過剰感薄れる

「前年同期比でみた従業員 DI(全体)」(「不足」－「過剰」)は、前四半期の▲9 が今期▲2 と過剰感が薄れた。業種別にみると、建設業、製造業で過剰感が減退している。サービス業では業況悪化の中、従業員が不足しており、定着率が悪いのかもしれない。



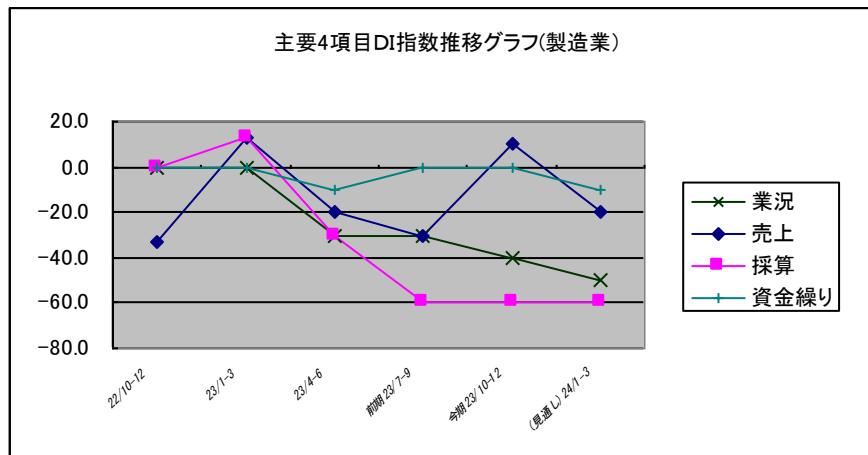
建設業

DI 指数をみると、「業況」は 3 四半期連続▲50 以下が続いていたが今四半期は▲20 と改善した。「売上」は前四半期の▲24 から今四半期▲30 と悪化したが、「採算水準」が前四半期の▲47 から今四半期は±0 と改善し、「取引の問合せ」も前四半期の▲41 から今四半期▲30 とやや改善し仕事量が増えていることによるとみられる。「資金繰り」春から秋にかけて受注が少なかった影響で今四半期も▲25 と悪化が続いている。「従業員」は前四半期の▲29 から今四半期▲15 と過剰感が薄まっている。



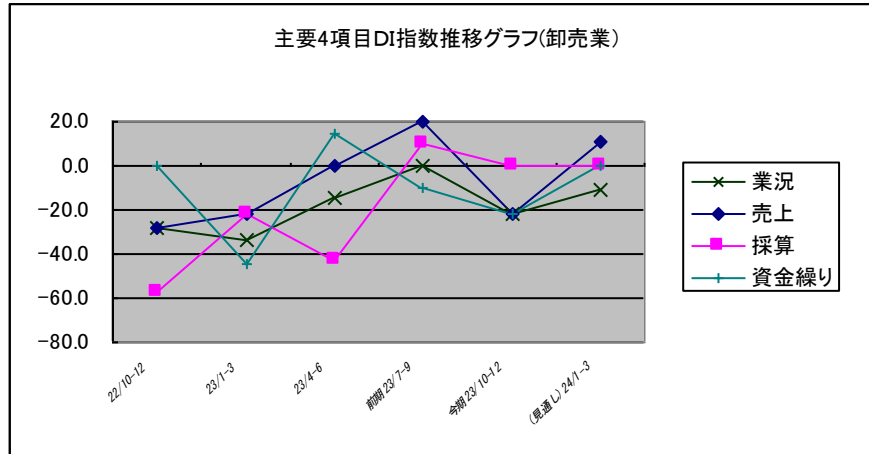
製造業

DI 指数をみると、「業況」は前四半期▲30 が今四半期は▲40 と悪化した。「売上」は前四半期の▲30 から今四半期+10 と増加に転じたものの、「採算水準」で前四半期の+40 から今四半期+20 と黒字企業が減少し、「取引の問合せ」も前四半期の▲20 から今四半期▲30 と低調に推移していることの結果とみられる。「従業員」は前四半期の▲30 から今四半期▲10 と過剰感が薄まっている。業況悪化の原因は円高の長期化、タイの洪水等の影響とみられる。



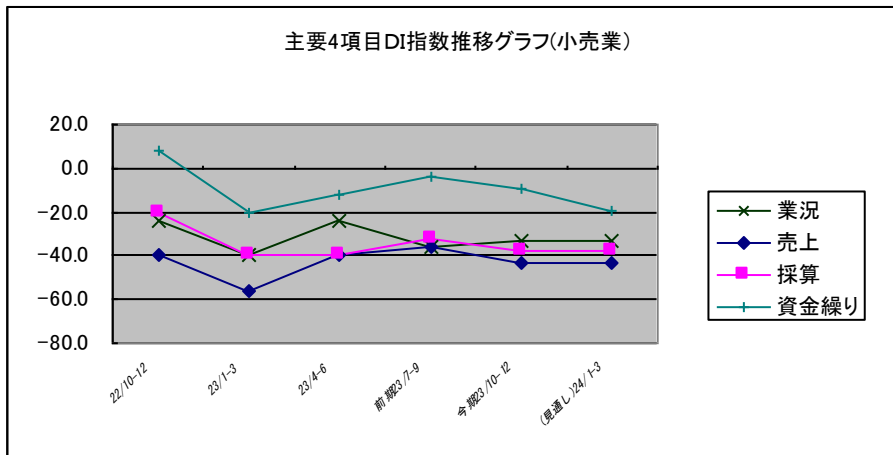
卸売業

DI 指数をみると、「業況」は前四半期の±0 から今四半期は▲22 悪化した。これは「売上」が前四半期の+20 から今四半期▲22 と減少したことに加え、「採算」が低下し、「採算水準」が前四半期の+30 から今四半期+22 と黒字企業が減少したためとみられる。「従業員」は今四半期も±0 で過不足なしが続いている。



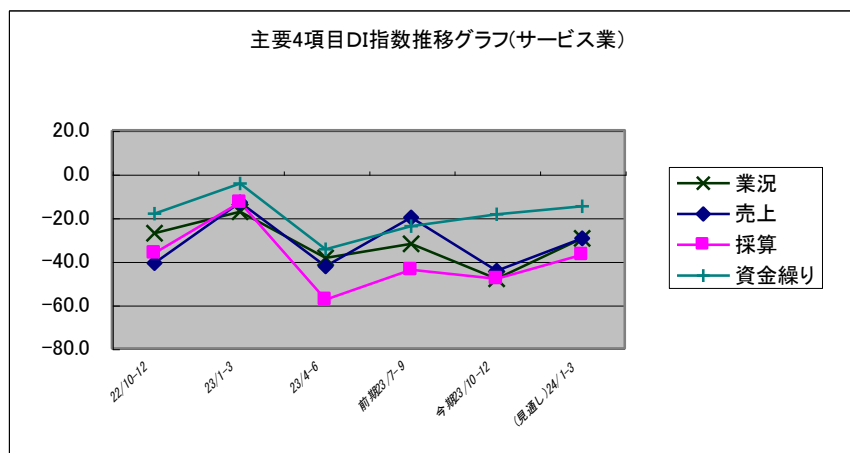
小売業

DI 指数をみると、「業況」は前四半期の▲36 から今四半期は▲33 と悪化幅が縮小した。ただし「売上」は前四半期の▲36 から今四半期▲43 と減少し、「採算」は前四半期の▲32 から今四半期▲38 に悪化し、「取引の問合せ」も前四半期の▲28 から今四半期▲33 と低調に推移しており、資金繰りも悪化するなど、一部で東日本大震災の影響も残っていて個別指標は悪化している。



サービス業

DI指数をみると、「業況」は前四半期の▲32から今四半期は▲48に悪化した。「売上」は前四半期の▲20から今四半期▲44と減少し、「採算」も前四半期の▲44から今四半期▲48と悪化した。「取引の問合せ」も前四半期の▲32から今四半期▲56と悪化している。業況が悪化している中で、「従業員」が前四半期±0から今四半期+11と不足しているのは定着率が悪化しているためかもしれない。



3ヵ月後の見通しについて全体の「業況」は、横ばいであった今四半期の▲35から▲29とやや改善する見通しをしている。「売上」は3ポイント改善して▲29、「採算」は2ポイント改善して▲36の見通しである。業種別に業況見通し判断をみると、円高の進行が見込まれる中、製造業が10ポイント悪化して▲50となることを見込んでいるほかは全般に現状維持かやや改善するとみている。ただし、欧州をはじめとする世界経済の減速、電力問題等の不安材料があり、先行き不透明感がなお強い。

3ヵ月後の設備投資については、設備投資計画があると回答した企業の割合は前四半期の17%から10ポイント増加して27%となった。サービス業が16%から71%に増加したのが目を惹く。製造業は40%から30%に減少。投資企業の投資内容の割合は更新投資が38%から47%に増え最も多い。投資方針は、「今後の景気に係らず計画通り」とする企業が前四半期33%から今四半期56%に増加した。景気の不透明感から我慢してきた投資も更新投資の時期が来て投資方針は計画通り行うことにしたものとみられる。

(MBA・中小企業診断士 田中清行)

(今の経済情勢に対する意見)

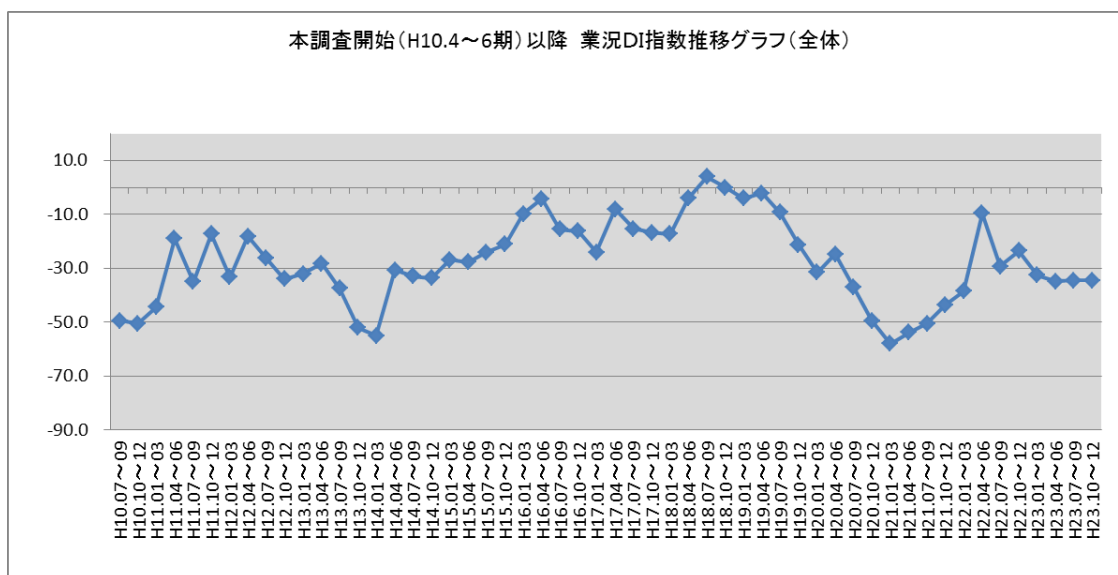
今の経済情勢に対する意見を寄せた企業は6社であった。

- ・需要の停滞が大きい ・景気が悪い ・単価が低い
- ・米を扱う業者に於ては、東日本大震災が大きく影響しております。生産地である県が毎年のように仕入が出来ない状況で23年産の購入にあたっては困難を極めております。他の地域に購売力を広げるのは解りますが、地元にもっと還元出来るようなやり方は無いものでしょうか
- ・年末に向かって少しリフォーム需要が増加していますが、年始は不透明ですね
- ・震災の影響でこの春から夏にかけての受注済工事が相次いでキャンセル又は延期となり、仕事がなくなってしまい、その間資金繰りの悪化がずっと続いて尾を引いておりますが、ただ、この秋以降、仕事量が増えているので、今後、明るい兆しが見えてほしい
- ・自動車関係手続代行サービスを業としているが、震災で立ち直りかけたところにタイの水害で、業界が生産減少で更に追打ちを受け業績が低下中
- ・①東日本大震災による復興事業は当地域まで波及していないことから、今後も業績は良好とはいえないのではないかと
②TPPでメリット、デメリットはどのように作用してくるのか、自社の事業にどのように影響してくるか不透明である

D I 指数一覧表

	業 況		売 上 高		採 算 (経常利益)	
	10-12月期 動 向	1-3 月期 見通し	10-12月期 動 向	1-3 月期 見通し	10-12月期 動 向	1-3 月期 見通し
全 体	▲ 34.5	▲ 28.7	▲ 32.2	▲ 28.7	▲ 37.9	▲ 35.6
建 設 業	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 30.0	▲ 35.0	▲ 30.0	▲ 35.0
製 造 業	▲ 40.0	▲ 50.0	10.0	▲ 20.0	▲ 60.0	▲ 60.0
卸 売 業	▲ 22.2	▲ 11.1	▲ 22.2	11.1	0.0	0.0
小 売 業	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 42.9	▲ 42.9	▲ 38.1	▲ 38.1
サービス業	▲ 48.1	▲ 29.6	▲ 44.4	▲ 29.6	▲ 48.1	▲ 37.0
	昨年の同期との比較		昨年の同期との比較		昨年の同期との比較	
	採算 (経常利益) の水準		取引の問い合わせ		従 業 員	
	10-12月期 動 向	1-3 月期 見通し	10-12月期 動 向	1-3 月期 見通し	10-12月期 動 向	1-3 月期 見通し
全 体	▲ 6.9	▲ 8.0	▲ 37.9	▲ 39.1	▲ 2.3	▲ 6.9
建 設 業	0.0	0.0	▲ 30.0	▲ 55.0	▲ 15.0	▲ 15.0
製 造 業	20.0	20.0	▲ 30.0	▲ 20.0	▲ 10.0	▲ 20.0
卸 売 業	22.2	▲ 22.2	▲ 22.2	▲ 33.3	0.0	▲ 22.2
小 売 業	▲ 14.3	▲ 14.3	▲ 33.3	▲ 23.8	▲ 4.8	0.0
サービス業	▲ 25.9	▲ 14.8	▲ 55.6	▲ 48.1	11.1	3.7
	該当期について		該当期について		昨年の同期との比較	

	資金繰り		長期資金借入難易度		短期資金借入難易度	
	10-12月期 動向	1-3月期 見通し	10-12月期 動向	1-3月期 見通し	10-12月期 動向	1-3月期 見通し
全体	▲ 16.1	▲ 10.3	▲ 10.3	▲ 13.8	▲ 4.6	▲ 9.2
建設業	▲ 25.0	0.0	▲ 15.0	▲ 15.0	5.0	5.0
製造業	0.0	▲ 10.0	10.0	0.0	10.0	0.0
卸売業	▲ 22.2	0.0	▲ 11.1	▲ 11.1	▲ 11.1	▲ 11.1
小売業	▲ 9.5	▲ 19.0	▲ 9.5	▲ 14.3	▲ 9.5	▲ 14.3
サービス業	▲ 18.5	▲ 14.8	▲ 14.8	▲ 18.5	▲ 11.1	▲ 18.5
	3ヶ月前との比較		3ヶ月前との比較		3ヶ月前との比較	



大津商工会議所

〒520-0806 大津市打出浜2番1号

コラボしが21・9F

TEL 077-511-1501

FAX 077-526-0795

URL <http://www.otsucci.or.jp/>